

終末について

ルカ 12 章 35-40 節

今日のテキストはけっこう飛んでいます。むずかしい言葉はないので読めば書いてあることはわかりますが、意味がトントわからない。腰に帯、ともし火、主人、婚宴、目を覚ませ、泥棒、用意しろ、一体なんのことでしょう。テキストで注意する点があります。「主人」と訳されている言葉は原語では「主」であり、ここでは「キリスト」の意味です。ただ 39 節の「家の主人」は「家長、一家の主人」という意味です。これがキチンと区別されていないとホント意味がわからなくなります。

要約すると、キリストの再臨に備えておきなさい、たえず注意していなさい、ちゃんと用意していたらキリストはあなたがたを迎え入れてくれる。キリスト再臨は泥棒のように思いがけない時にやってくる、このような意味のこと、終末、再臨のことををきょうのテキストは語っています。

1. 「終末」… おわり、最後

まず最初に「終末」の意味ですが、それは「最後の事柄、終わりのこと」です。物事には初めがあって終わりがある。その終わりのことをすこし気取って「終末」といっています。

2. 個人終末と世界終末

終末は終わりのことですが、何の終わりかということの意味が二つあります。一つは個人の終わりとしての死です。誕生が始まりで死が終わりです。そこで死んだ後はどうなるのかということを考えるのが個人の終末です。これについては教会の間で聖書解釈の違いがあります。一番の違いは煉獄（れんご

く)のありなしです。カトリックでは死者の行き先は「天国」「煉獄」「地獄」三つですが、プロテスタントは「天国」「地獄」の二つしかありません。一般的にプロテスタントは個人の死者に対して祈ることをしません。いわゆる供養はおこないません。①天国に行っている人に祈るのはおこがましい、むしろ自分がとりなしてもらおう方だろう、また、②地獄に落ちた人を祈ってもしかたないという理由からのようです。プロテスタント理解では天国と地獄の二つしかないのので、未信者は死んでほとんど地獄に行くわけです。つまり多くの日本人死者は地獄にいるわけです。キリスト教が多数派ならまだしも、現実としてこれじゃあんまりにも辛いでしょう。実際には未信者の葬式もやるし、年に一回はみんなまとめて供養の礼拝をするなどプロテスタント教会も工夫はしています。

二つめが世界の終わり、宇宙全体の終わり、歴史の終わりです。これを世界終末、世の終わりといいます。この点については聖書解釈におおきな違いはありません。

3. 終末の広い意味と狭い意味

さらに世の終わりを二つに分けています。

<広い意味>

広い意味では、もうすでに終末、世の終わりの時代です。わたしたちはもうすでに歴史の終わりの時代を生きています。

救い主イエス・キリストが誕生して、十字架の死と復活によって救いの道が開かれている時代のこと、つまり新約の時代、西暦30年ごろからを終わりの時代といっています。

<狭い意味>

狭い意味での世の終り、終末とは、キリスト再臨、万人の復活、最後の審判、

新天新地の出現、神の国の完成のことをいいます。

わたしたちが、通常、世の終り、終末と言え、この狭い意味になります。

終末を広義、狭義とわけて考えることで、神の国は既に到来したが、しかし、まだ完成してない。あるいは、救いは始まったが、しかし、まだ完成していない、という状況を説明することができます。聖書を読んでいて、あれ、と感じる部分があるとおもいます。このように対立している事、矛盾している事柄をいっしょくたに考えるという方法がキリスト教信仰にはよくあります。だからヘンだ、間違っている、どっちかにしろよ、というのではなく、この対立する事柄をより深く理解し、いっしょにする、ひとつにするということを神は私たちに求めています。

4. キリスト教の歴史観

聖書は世界の創造、人類の墮落、救いの約束、旧約時代、キリストの十字架の死と復活、教会成立、教会による宣教の時代、キリスト再臨による世の終りという事柄が記されています。これは始めがあって終わりがあるという直線的歴史観です。

そして世の終りというのはたんなる終りでなく、目標、ゴールに到達して終る、つまり神のみ心がかなうという意味をもっています。

この意味があるからこそ、終末、世界の終わりは恐ろしいものではなく、目標達成、ゴール、希望となります。またその一方で人によっては警告のメッセージとなる場合もあるのです。

5. さいごに

さて、終末について大枠を説明しました。ところできょうのテキストの最後にはこうあります。

12:40 あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。

この聖書の言葉を個人の終末、世界の終末にあてはめてみる、また、広い意味での終末、狭い意味での終末で考えてみる。み言葉をいろいろな面から味わうことができるとおもいます。そして最後に自分自身にもあてはめてみて、この聖書の言葉を味わってみてください。

きょうはこれで終しまいです。